

まちづくり人養成講座～新しい時代の話合い入門

■はじめに

□講師自己紹介

□本講座のアウトライン

この講座は、将来の西宮市の地域づくりで活躍する「まちづくり人」を養成するための講座として行われています。

講座のテーマとしては、まちづくり人養成の手始めとして、地域づくりの現場でよく行われる「会議・会合・打合せ・話合い」が上手にできる人になることを目標にします。

講座の性質上、あとで説明するような「ファシリテーション」あるいは「ワークショップ」の概念・技術を活用します。そこで、ファシリテーションについてもできるだけ分かりやすく解説し、その技術を習得していただけるように進めるつもり입니다。

□講義の進め方

1回の講義は、講師によるレクチャーが半分、皆さんのワークが半分程度で構成されます。皆さんは、講師から何かを教わるだけでなく、自ら課題を発見して解決するような、そんな場面もたくさん出てきます。こうしたワークには、ぜひ積極的に作業に参加して下さい。そこから得られた経験や知識もまた、講義の成果として持ち帰っていただきたいと思ひます。

加えて言うなら、こうした講義の進め方からも、会議の進め方について学んでいただければと考えています。

□修了証の発行、遅刻欠席の取り扱い

全部出席された方には修了証を発行します。

(もし遅刻しても、できるだけ出席していただきたいですが、他の受講者の方のご努力も考えて、1時間以上の遅刻は修了証的には欠席とみなす約束にしておきます。)

□その他の約束事・注意事項

- ①携帯はOFFにするかマナーモードにして下さい。
- ②全ての皆さんが快適に過ごす権利があります。暑い寒いなどの注文はいつでもどうぞ。
→今日は気分がよくないので積極的になれない。というのもOKです。
- ③トイレはいつでもOK。
- ④講師の講義中はいつでも質問OKです。むしろ歓迎です。遠慮なくどうぞ。
- ⑤私の講義については、いつでも写真撮影OKです。ネット公開もOK。
- ⑥講義は全てパブリックドメイン（改変自由・再利用自由）とします。
→ただし講師の紹介するコンテンツで、出典の明記されたコンテンツについては、著作権がオリジナルの著者等にある可能性がありますので、ご配慮下さい。
- ⑦スライドを撮影することは、他の受講者の方の気が散るので遠慮して下さい
→あとでダウンロードできるようにしますので写真を撮らなくても大丈夫
- ⑧皆さんの写真を市役所の担当や、講師・スタッフが撮影することがあります。
→市役所では講座の記録として写真撮影する他、この講座の紹介のために写真を（ネット上を含めて）公開する場合があります。できるだけ個人が特定できないよう配慮いたしますが、不都合のある方はお申し出下さい。
→講師の撮った写真は、講師のブログ・Facebook等で公開される可能性があります。不都合のある方はお申し出下さい。

まちづくり人養成講座～新しい時代の話合い入門 第6講

0. あいさつ

1. 第1～3講・4～5講の復習（5分）

■「良い話し合いにするためのコツ」を学びました。

良い話し合い＝「皆の納得を引き出す」ためのコツ

- ・人：話を上手に聴く
(相手の立場にたって聴く、うなずく、相づちを打つ)
- ・場：場の安全を確保する
(怒られない、否定されない、話しやすい環境をつくる)
- ・技術：意見の出やすい工夫をする
(ワークショップ技法やファシリテーション技術)

①人：進行係がいるとうまくいく（第1講）

- ・話し合いの流れを整理する役割＝ファシリテーターが必要
- ・第三者的な人が望ましい

②場：話しやすい環境をつくるとうまくいく（第2講）

- ・アイデアを出すワークを通じて体験
- ・アイデアをだすためにルール
批判禁止、質より量、他人の意見に便乗、突飛な意見歓迎

③技術：やり方を工夫するとうまくいく（第1～3講）

- ・旗あげアンケート
→みんなが意見を言える（選ぶ）、少数意見を黙殺しない。
- ・ポストイットをつかう
→1人3枚かけば、20人なら60個の意見が出る。
- ・ホワイトボードを使うとうまくいく
→話の流れが見える。脱線しない。

④ダメ話し合いの実験：ダメな話し合いはどこがダメかを体験（第4講）

⑤ポストイットワークのコツを学ぶ（KJ法の正しい使い方）（第5講）

- ・新しいアイデアが必要な時に、既存のフレームを持ち込まない

2. 皆さんのアンケートから（5分）

手法を色々と学んだけど、実は大事なものは「手法」だけではありません。

上に書いたような「聞くこと」「場の安全」「手法」が必要な他にも「皆さんの意気込み」とか「チームの協力関係」とか「ファシリテーター役の気遣い」など、いろいろな要素があるように思います。

今日は、そういった上手な話し合いのチェックポイントについておさらいしながら、実際の話合いをしてみましよう。

まちづくり人養成講座～新しい時代の話合い入門 第6講

3. 今日みんなで話合いの実践です（45分×2）

実は大事なものは、話合いの内容だけではないことに注意して下さい。
常に頭上に「もう一人の冷静な自分」を意識しておくこと。

設問① 自治会のイベントへの参加減少問題

自治会のイベントへの集まりが悪く、参加者も減っています。
役員会で、この問題についてどうするか検討することになりました。
皆さんはこの自治会の役員さんです。話し合っただけで何らかの結論を出して下さい。

（もし必要なら、話合いの前提条件シートを配布します）

- （1）振り返りシートを使って個人でチェックしてみます。
- （2）チームのシートで話合いの良い点・悪い点などをまとめます。
- （3）チームごとに発表をします。

設問② 選択問題（チームでどちらか選んで下さい）

【その1】

西宮のある商店街の写真を画面に映します。
どことなく殺風景で元気のなさそうなこの商店街を、よりよい景観・元気のある商店街、にするための工夫を考えようと思います。皆さんでどんな方法が可能か提案して下さい。

【その2】

ある住宅地で、まちなみの景観を統一するために桜並木をつくる計画があがっています。春には通りぬけのお花見も企画してみんな楽しみにしていますが、沿道の住宅に住む人から「花びらの掃除や毛虫にこまるので、他の木にして！」との苦情がありました。皆さんはこの地区の役員さんです。この苦情についてどう対応するか、結論を出して下さい。

- （1）振り返りシートを使って個人でチェックしてみます。
- （2）チームのシートで話合いの良い点・悪い点などをまとめます。
- （3）チームごとに発表をします。

4. 総まとめ・修了証の交付（約15分）